

2008 年度 小委員会活動成果報告

(2009 年 2 月 9 日作成)

小委員会名	建物火災被害低減のための防排煙技術検討小委員会	主 査 名：山田常圭 就任年月：2005 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	防火委員会	委員長名：田中孝義 主 査 名：
設 置 期 間	2005 年 4 月 ~ 2009 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	従来の防排煙対策は、火災初期の避難安全を主たる目的としてきたが、高層ビル等において避難が長時間に及ぶ場合、盛期火災において火煙からの避難者の安全性が確保されることが必要となる。また避難のみならず、火災盛期の消防隊の活動支援、煙害による物的な損害の軽減等、防排煙対策に求められる役割が多様化してきている。本小委員会では、こうした防排煙に関わる新たなニーズ調査をもとに、求められる性能レベルおよびその性能を達するための技術的解決策を検討し、将来の方向性を提案する。	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無し 山田常圭(消防研究所)、上原茂男(竹中工務店)、関根章義(前田建設工業)、笠原勲(大成建設)、茂木正史(奥村組)、栗岡均(鹿島建設)、萩原一郎(国土技術政策総合研究所)、広田正之(清水建設)、油野健志(鴻池組)、森山修治(日建設計)、山田茂(フジタ)、山名俊男(国土技術政策研究所)、松下敬幸(神戸大学)、松山賢(東京理科大)	
設置 WG	無	
2006 年度予算	147,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	1 回(年度内計画を含む)
刊行物	
講習会	
催し物	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	建物火災被害低減のための防排煙に関わる主要技術の一つである「階段加圧」に関して、その技術的背景、設計の概念、設計手法等をまとめ、ケースステディも行った。
委員会活動の問題点・課題	<ol style="list-style-type: none"> メンバー構成、内容が防排煙技術の告示作成に関わる官庁の検討委員会とかなり重複しており、議論が別の場で進んでいる。アカデミックスタンダードが後追いで進んでいる状態で、研究のモチベーションの維持が課題である。 委員会のメンバーの年齢構成が高くなってきており、日程調整も研究活動に避ける時間も制約されつつある。今後、若手研究者の参加が、本委員会の活性化の上では不可欠である。

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。